

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2012年12月1日

111号



## 南国の女王チバトの花

この時期、パラグアイ首都アスンシオンに着くと、街路樹にチバトの花が至るところで鮮やかな朱色をして人々の目を楽しませています。南米では珍しくない樹木のようです。

葉は涼しげで、花は鮮やか、南国に相応しい色合いであり、樹高は大きくなると20m程にもなり、素晴らしい木陰を作り、人々の憩いの場を作り出してくれます。花の色は、黄色が混ざった朱色との混色もあります。

レダでは、植樹園の中だけでなく、公館や宿舎の周りにも成長してきたチバトの花を見ることができます。全て植樹したもので、この近辺の自然の森の中では見たことがありません。チバトの実は、なた豆の実のような半月の刀に似た形をして、30~40cm程もあり、はじめは緑色で、熟すに従って茶色となり、最後はカチカチに固くなるとともに黒ずんで来ます。さやの中には、黒い豆が幾つも綺麗に並んで入っています。木によって異なりますが、レダでは、年に二回咲く木もよく見かけます。（飯野記）

◎ ホウオウボク（鳳凰木、学名：*Delonix regia*）は、ジャケツイバラ科（新エングラー体系とAPG植物分類体系ではマメ科）の落葉高木である。パラグアイではチバトと呼ばれ、街路樹によく使われる。

# 大統領と会見

十月二十二日、大統領官邸で南北米福地財団の関係者が大統領と会見をしました。わずか半時間の会見でしたが、大統領も終始和やかな雰囲気で皆に応対してくれました。

初めにフランコ大統領がその場に参席した一人一人を握手で迎えてくださいり、その後、席に着かれ、まずは中井さんが一人一人の名前を大統領に紹介しました。

**青年奉仕隊の報告** 次に、柴沼から青年奉仕隊のファイルで大統領に説明しました。「八月末から九月半ばまで日本の青年がパラグアイにボランティアに来て、大統領にお会いでできるのを楽しみにしていました。しかし、大統領のスケジュールが合わなかつたため、お会いできず本当に残念であつたと言つっていました。彼らがパラグアイに来て、パラグアイの人々のあたたかさとパンタナールの自然の素晴らしさに触れ、心からパラグアイが好きになつたようです。ボランティアに来た青年はパラグアイのファンになつて帰りました。」

次に、大統領にファイルを見ていただきながら、青年奉仕隊の活動を少しの時間報告しました。「私が日本各地でパンタナールの紹介をするときは是非、訪れたいとの多くの声がありますが雨が降ると交通手段が不安定なので、エコツアーなどの計画を進めることが困難です。オリンポにコンクリートの滑走路を造つてもいい」と大統領に要請したところ、すでにその方向で進んでおり、近々、きちつとした滑走路が出来るとのことでした。

でした。

## フランコ大統領にレダ開発を説明

**レダ開発を紹介** 続いて、今までレダでは環境保護のため、またインディヘナの村のため、多くのプロジェクトを進めて来ましたので、レダでの活動を佐野さんから報告をしてもらいますのでと、佐野さんにバトンを渡し、佐野さんがレダの活動について大統領にファイルを用いて報告をしました。

佐野さんが報告する時は大統領も身を乗り出してファイルを見ながら、「自分は皆さんのはいろいろ聞いており、よく知っています」とも言われながら熱心に佐野さんの話に耳を傾けておりました。特にレダでの植林活動に興味をもたれ、ニームの成長には指でニームの樹を指しながら感動を表していました。また、魚の養殖の説明も写真を見ながら熱心に聞いておられ、佐野さんが大統領に一度、レダを訪問してほしいとのことを言った瞬間に大統領はすぐにでもレダに行きたいと言われました。

最後に大統領は皆で写真を撮りましょうと言われ、一緒に写真を撮った後は佐野さんのワイシャツの襟にあるボタンがかかっていなかったのでそれを自らかけて下さるほど心が打ち解け、会見は終わりました。

また、日本の青年たちに色紙に一言をとお願いしたところ、下記の内容を書いてくれました。  
(柴沼記)

### 色紙の内容

日本の青年達に知って欲しいことは、パラグアイにはたくさんの日系人が住んでいるということであり、彼らは原野を開拓して土地を征服したばかりでなく、パラグアイの人々の心を征服した。

皆様の活動が成功裏になされますように祈っています。

パラグアイ大統領 フィデリコ フランコ



# 国際協力青年奉仕隊の足跡



ディアナ村に大きく育つニームの木

た。

ディアナ村では30年以上、カソリックの尼でありながらディアナ村の教育に尽力を尽くされた校長が定年退職し、以前から教師をしていた方が校長になっておりました。ディアナ村で植樹した樹は7-80%は育っており、特に植林活動の最後に青年たち自らが樹を植える穴を掘った、2本の樹は立派に育っていました。先生方もそのことを知っており、この木はとても素晴らしいと報告してくれました。ディアナ村は神山威先生がインディヘナ村を訪問した時、最初に学校建設を決定した村で先生方も「今、神山先生はどこに居るのか」と懐かしそうに尋ねて来ました。

学校の生徒も増えて来ており、教室が不足していること、また生徒が勉強する椅子、机が不足しているのでどうにかならないかとも要請されました。

今回、日本から持っていた文具を渡してきました。

マジョ村では村の代表と学校の校長に日本の青年が来た時の印象を話してもらい映像で撮りました。今でも子供たちは懐かしく思っており、何時でも訪れてほしいとの事でした。植樹で植えた樹は川沿いの土地が高いところは昨年の大洪水でも浸水しなかったのでとてもよく育っていましたが家の近くの村に植えた樹はほぼ全滅でした。全体では40%ほどが残っているのではとの印象でした。

エスペランサ村はいつも訪れている村ですので、学校と植樹で植えた樹を映像で撮り、時間もあまりなかったのでレダに帰ることになりました。

レダでは10月終わりから11月初めにかけて川の水が急激に低くなってしまい、魚が浅瀬に集中するため、鳥たちの群がる場面に何度も出会いました。ローマプラタからレダへの道の途中でも、レダの支流でも、またレダからエスペランサ村でもトウユウが数十羽から数百羽、群れているのを見ることが出来ました。とても壮観でした。

柴沼記



マジョ村で洪水を免れ元気に育つニームの木

## 教室で授業が始まりました

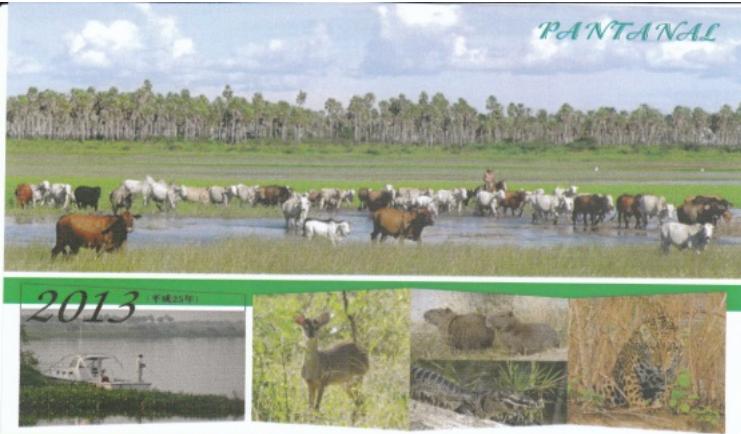


10月号で、マリア村の小学校の先生方から、屋根の修理に対する感謝がありました。子供たちの授業風景の写真が届きました。子供たちも、教室に入って授業ができ大変に喜んでいますとのこと。屋根が吹き飛んでしまい、長く教室での授業ができず、不自由な状況でした。一方、青年奉仕隊が植えた並木は雨が降っていないので成長には厳しい環境ですが、学校の中は先生がしっかりと管理してくれ、ブーゲンビリアはすべて花をつけ大きくなっています。

マリア・アウシリアドーラの生徒たちが皆、今でも日本の青年たちと過ごした日を思い出して語っているようです。報告 佐野

11月1日の午前中、佐野さんとともに過去、青年奉仕隊が行き、学校を建て、植樹活動をしてきた3つの村を訪れました。

## 2013年カレンダーご案内



世界平和地球村の建設と自然環境の保護 Towards Building a Global Village of Peace and Protecting the Environment

1							2							3							4						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
							1	2	3	4	5			1	2						1	2	3	4	5	6	
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
5							6							7							8						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
							1	2	3	4				1	2	3	4	5	6		1	2	3				
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
														21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25



2013年用カレンダーの制作が進められています。まだ一部デザインが修正されますが、掲載される写真を紹介します。

今回使われている写真は、全体的にメインがパンタナールでのカウボーイと牛の群れです。更にカピバラ・ワニ・小鹿・豹などの動物たちが中心のカレンダーとなっています。

購入申し込み受付を開始しました。第一次〆切は12月10日です。

お値段は例年と変わりません。一枚400円、部数が増えると割引があります。入荷次第、申し込み順で発送します。（飯野記）

左下写真は、10番ゲート前（アンテルコ前）の岸辺で遊んでいた2匹の兄弟カピバラです。（6月撮影）

## 2013年カレンダー注文 カレンダ一代金

1-9枚 1枚400円 10-19枚 350円  
 20-49枚 300円 50-99枚 250円  
 100枚以上 1枚200円

お送りする場合は、上記金額に包装代300円が加算されます。着払いとなりますのでよろしくお願ひいたします。

①申込者名  
②部数 金額 円  
③受け取り方法：事務局にて 郵送にて（どちらかを○で囲む）  
④郵送の場合 電話番号 住所 郵便番号□□□-□□□□も記入してください。  
⑤支払い：振込または現金（どちらかを○で囲む）  
郵便口座 口座番号 00290-5-113072  
南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫  
三菱東京UFJ銀行  
宮崎台支店 口座番号 0135497  
南北米福地開発協会 代表 飯野貞夫

会費は月五〇〇円、  
毎月、パンタナール通信を送ります。  
また、各種のセミナー、エコツアー等の  
案内をいたします。

# 地球家族として 自然を守りましょう

## 会員募集中

南北米福地開発協会

南北米福地開発協会事務局  
〒二一三一〇〇一  
神奈川県川崎市高津区溝口三十一十五  
F a x 電話 ○四四一八二九一二八二二〇  
八二九一二八二二〇 岩崎ビル四F  
会費納入 郵便口座 一〇一八〇一七七六八〇四七一

○四四一八二九一  
F a x 八二九一  
会費納入 郵便口座  
一〇一八〇一七七六八〇四七  
E メール office@asd-nsa.jp

ホームページ <http://www.asd-nsa.jp>